

(地Ⅲ21)

平成25年4月17日

都道府県医師会
郡市区医師会
担当理事 殿

日本医師会
常任理事 道 永 麻



標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】の送付について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準等の一部改正等について」、及び「平成25年度以降に実施される特定健康診査及び特定保健指導に関する電磁的方法により作成された記録の取扱いについて」等の送付につきましては、平成25年4月15日付日医発第46号（地Ⅲ18）の通知をもって貴会宛てに送付させていただきました。

今般、平成25年度より、第二期特定健康診査等実施計画期間が開始することに伴い、標準的な健診・保健指導プログラム改訂版が作成されましたので、冊子をお送りいたします。

本資料につきましては、厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshoh/iryouseido01/info02a.html>) に掲載される予定です。

また、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」につきましても改訂がなされ、プログラム同様にホームページに掲載される予定でありますので、冊子といたしまして改めてお送りいたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会関係会員等への周知方、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値

番号	項目コード (JLAC10)	項目名	保健指導判定値	受診勧奨判定値	データタイプ	単位	検査方法	備考	
1	9A755000000000001	収縮期血圧	130	140	数字	mmHg	3:その他	平均値等、「1回目」「2回目」以外の値の最も適切な値を記入する	
	9A752000000000001								2:2回目
	9A751000000000001								1:1回目
2	9A765000000000001	拡張期血圧	85	90	数字	mmHg	3:その他	平均値等、「1回目」「2回目」以外の値の最も適切な値を記入する	
	9A762000000000001								2:2回目
	9A761000000000001								1:1回目
3	3F015000002327101	中性脂肪	150	300	数字	mg/dL	1:可視分光光度法 (酵素法比色法-グリセロール除去)	空腹時の測定を原則とした判定値	
	3F015000002327201								2:紫外分光光度法 (酵素法比色法-グリセロール除去)
	3F015000002399901								3:その他
4	3F070000002327101	HDLコレステロール	39	34	数字	mg/dL	1:可視分光光度法 (直接法(非沈澱法))	空腹時の測定を原則とした判定値	
	3F070000002327201								2:紫外分光光度法 (直接法(非沈澱法))
	3F070000002399901								3:その他
5	3F077000002327101	LDLコレステロール	120	140	数字	mg/dL	1:可視分光光度法 (直接法(非沈澱法))	空腹時採血を行い総コレステロール値を測定した上で、Friedewald法を用いて算出する場合等	
	3F077000002327201								2:紫外分光光度法 (直接法(非沈澱法))
	3F077000002399901								3:その他
6	3D010000001926101	空腹時血糖	100	126	数字	mg/dL	1:電位差法 (ブドウ糖酸化酵素電極法)		
	3D010000002227101								2:可視分光光度法 (ブドウ糖酸化酵素法)
	3D010000001927201								3:紫外分光光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素酵素法)
	3D010000001999901								4:その他
7	3D046000001908202	HbA1c(NGSP)	5.6	6.5	数字	%	1:ラテックス凝集比濁法 (免疫学的方法)	小数点以下1桁	
	3D046000001920402								2:IFCC (不安定分離法HPLC法)
	3D046000001927102								3:酵素法
	3D046000001999902								4:その他
8	3B035000002327201	AST(GOT)	31	51	数字	U/L	紫外分光光度法 (JSCC標準化対応法)		
	3B035000002399901								2:その他
9	3B045000002327201	ALT(GPT)	31	51	数字	U/L	紫外分光光度法 (JSCC標準化対応法)		
	3B045000002399901								2:その他
10	3B090000002327101	γ-GT(γ-GTP)	51	101	数字	U/L	可視分光光度法 (IFCC/JSCC標準化対応法)		
	3B090000002399901								2:その他
11	2A030000001930101	血色素量 [ヘモグロビン値]	13.0(男性) 12.0(女性)	12.0(男性) 11.0(女性)	数字	g/dL	自動血球算定装置		

※1~2のデータ基準については日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン」に基づく。
 ※3~5のデータ基準については日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患診療ガイドライン」及び「老人保健法による健康診査マニュアル(旧老人保健法関係)」に基づく。
 ※6~7については日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイド」等の各判定基準に基づく。
 ※8~10のデータ基準については日本摂食栄養学会「健康診断研究委員会」に基づく。
 ※11のデータ基準については、WHOの貧血の判定基準、人間ドック学会作組の「人間ドック成績判定及び事後管理に関するガイドライン」のデータ等に基づく。
 ※検査方法については、それぞれの検査項目別に90%以上をカバーするトレーサビリティが取れた日常検査法を記載した。
 ※検査項目コードについては、上記以外の検査法も含め、JLAC10コードを用いる。
 ※HbA1cについては、平成25年度からは従来のJDS値ではなく、NGSP値で表記する。なお、JDS値とNGSP値は、以下の式で相互に正式な換算が可能である。
 $JDS値(\%) = 0.98 \times NGSP値(\%) - 0.245\%$ $NGSP値(\%) = 1.02 \times JDS値(\%) + 0.25\%$

データ範囲のチェック

項目コード	項目名	データタイプ	入力値小値 (L)	入力値大値 (H)	少数点以下の桁数	単位
9N001000000000001	身長	数字	100.0	250.0	1	cm
9N005000000000001	体重	数字	20.0	250.0	1	kg
9N011000000000001	BMI	数字	10.0	100.0	1	kg/m ²
9N016160100000001 9N016160200000001 9N016160300000001	頭圍	数字	40.0	250.0	1	cm
9A755000000000001 9A762000000000001 9A751000000000001	血圧(収縮期)	数字	60	300	0	mmHg
9A765000000000001 9A762000000000001 9A761000000000001	血圧(拡張期)	数字	30	150	0	mmHg
3F015000002327101 3F015000002327201 3F015000002399901	中性脂肪	数字	10	2000	0	mg/dL
3F070000002327101 3F070000002327201 3F070000002399901	HDLコレステロール	数字	10	500	0	mg/dL
3F077000002327101 3F077000002327201 3F077000002399901	LDLコレステロール	数字	20	1000	0	mg/dL
3B035000002327201 3B035000002399901	AST(GOT)	数字	0	1000	0	U/L37℃
3B045000002327201 3B045000002399901	ALT(GPT)	数字	0	1000	0	U/L37℃
3B090000002327101 3B090000002399901	γ-GT(γ-GTP)	数字	0	1000	0	U/L37℃
3D010000001926101 3D010000002227101 3D010000001927201 3D010000001999901	空腹時血糖	数字	20	600	0	mg/dL
3D046000001906202 3D046000001920402 3D046000001927102 3D046000001999902	HbA1c(NGSP)	数字	3.0	20.0	1	%
2A040000001930102	ヘマトクリット値	数字	0.0	100.0	1	%
2A030000001930101	血色素量[ヘモグロビン値]	数字	0.0	30.0	1	g/dL
2A020000001930101	赤血球数	数字	0	1000	0	万/mm ³

※1 基準範囲外: 健診データが入力値小値以下の場合は「L」、入力値大値以上の場合は「H」を入力する。ただし、平成25年度は測定値も併せて入力する。
 (注)この「L」「H」は、必要ないデータスペースを確保することによるシステムの変更を前提としたこと。入力データの30%300で入力し、そのうち10%の割合から設定している。「H」以上の値は必ずしも正常値範囲データとして考えられなくても構いません。個々の検査項目や測定機器上の問題を随時調べることが、各年度の基準範囲からは行われていない。したがって、平成25年度からHbA1cが5.6%からNGSP値に移行するが、それに伴ってこれらの「H」「L」値については変更しない。
 ※2 検査の実施: 健診データが未入力または未実施の場合は「系外値」を入力する。